

医療安全通信 第70号-1

【薬局部 医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

手術前の休薬を考慮すべき薬剤について

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の「共有すべき事例」2019年 No. 7には『検査入院する患者にタケルダ配合錠が処方された』事例が掲載されています。

http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing_case_2019_07.pdf

◆ 事例の内容

【原文のまま抜粋】

患者に薬剤を交付する際、検査のため他の医療機関に入院する予定があり、必要に応じて手術を行うかもしれないことを聴取した。服用している薬剤の中にタケルダ配合錠があった。出血を伴う検査であれば、入院前からタケルダ配合錠の服薬を中止する必要があると考えた。疑義照会した結果、休薬する期間を設けることとなり、処方日数に変更になった。日頃、患者には一包化調剤した薬剤を渡していたため、飲み間違いがないように分包紙に日付を印字した。

◆ 背景・要因

処方した医療機関に、入院の情報が伝わっていなかったと思われる。

◆ 薬局が考えた改善策

丁寧な聞き取りが大切である。情報を収集するには、日頃から患者と信頼関係を構築しておくことが重要となる。

◆ その他の情報

タケルダ配合錠の添付文書（一部抜粋）

【組成・性状】

1錠中の有効成分：アスピリンとして100mg及びランソプラゾールとして15mg

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

（10）手術、心臓カテーテル検査又は抜歯前1週間以内の患者〔アスピリンは手術、心臓カテーテル検査又は抜歯時の失血量を増加させるおそれがある。〕

◆ 事例のポイント

○タケルダ配合錠はアスピリンを含有する薬剤であるため、手術や出血を伴う検査、抜歯を行う際は、休薬するか考慮すべきである。

○本事業部が運営している医療事故情報収集等事業が提供している医療安全情報No. 149（2019年4月）では、医療機関内で観血的医療行為前に中止する取り決めがある薬剤を把握していなかったことや中止指示を出さなかったことにより、予定した手術や検査が延期になった事例を紹介している。http://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_149.pdf

○休薬期間を設ける場合、患者にとっては薬剤の管理が複雑になる。分包紙に服薬日を入れるなどの対応は、飲み間違いを防止し、患者が安全に治療を受けるための支援となる。

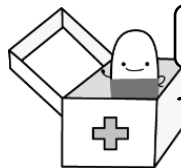
手術・検査・抜歯等の予定のある患者が服用している薬剤の中に休薬を考慮すべき薬剤が含まれていないか確認することは薬剤師の重要な業務の一つです。

この事例のように薬剤を処方した医療機関と手術・検査等を行う医療機関との間で情報共有がなされていない場合、入院してからの休薬指示では中止期間が不十分となって、予定の手術・検査が延期になることもあります。

手術様式や担当医の方針、医療機関の取り決めにより休薬期間は異なり、また、患者個別の背景（休薬リスク、出血リスク、併存疾患、腎機能等）が考慮されます。標準となる休薬期間と患者背景を理解した上で、処方鑑査や疑義照会を行うことが必要です。次頁に、手術前の休薬期間について添付文書に記載がある代表的な薬剤を示します。抗血栓薬以外にも休薬を考慮する薬剤がありますので、整理しておきましょう。

患者から手術や検査に関する情報を得た時、**疑義照会により休薬の可否や期間について確認したり、患者自身がお薬手帳を主治医に提示して休薬についての指示を得るよう指導することは、服薬情報の一元管理を担う薬局の大きな役割です。また、休薬した薬剤の再開忘れにも注意が必要**です。





医療安全通信 第70号-2

【薬局部 医療安全委員会】

添付文書に手術前の休薬期間が記載されている代表的薬剤

添付文書に具体的な休薬期間が記載されていなくても、手術・検査・抜歯等の前に休薬が必要な薬剤がありますので、医師の指示が不明確な場合は疑義照会等で確認を行いましょ。

一般名	代表的商品名	手術前休薬期間
血液凝固阻止剤		
アピキサバン	エリキュース	24~48時間以上
エドキサバン	リクシアナ	24時間以上
ダビガトランエテキシラート	ブラザキサ	24時間~2日以上
リバーロキサバン	イグザレルト	24時間以上
抗血小板薬		
アスピリン	バイアスピリン ゼンアスピリン	8日間以上
アスピリン/ランソプラゾール	タケルダ	8日間以上
アスピリン/ダイアルミネート	バファリン イスキア アスファネート ニトギス バッサミン ファモター	8日間以上
クロビドグレル	ブラビックス	14日以上
クロビドグレル/アスピリン	コンプラピン	14日以上
チカグレロル	ブリリント	5日以上
チクロピジン塩酸塩	パナルジン	10~14日
プラスグレレ	エフィエント	14日以上
β 遮断薬		
アセトロール	アセタノール	24時間
アテノロール	テノミン アルセノール アルマイラー クシセミン	48時間
カルテオロール塩酸塩	ミケラン テオグール	24時間
セリプロロール塩酸塩	セレクトール	48時間
ナドロール	ナディック	48時間
ニブラジロール	ハイバジール	24時間
ビソプロロールフマル酸塩	メインテート ウェルビー ビソノ	48時間
ピンドロール	カルビスケン プロクリン	24時間
プフェトロール塩酸塩	アドピオール	24時間
プロプラノロール塩酸塩	インデラル	普通錠: 24時間 徐放Cap: 48時間
ベタキソロール塩酸塩	ケルロング タルロング	48時間
メプロロール酒石酸塩	セロケン ロプレソール	普通錠: 24時間 徐放錠: 48時間
α β 遮断薬		
アモスラロール塩酸塩	ローガン	24時間
アロチノロール塩酸塩	アロチノロール塩酸塩	48時間
カルベジロール	アーチスト	48時間
ラベタロール塩酸塩	トランデート レスポリート	24時間
ベバントロール塩酸塩	カルバン	48時間

一般名	代表的商品名	手術前休薬期間	
ACE阻害薬			
アラセプリル	セタプリル	24時間	
イミダプリル塩酸塩	タナトリル		
エナラプリルマレイン酸塩	レニベース		
	エナラート		
	セリース		
カプトプリル	ファルプリル		
	カプトリル		
キナプリル	カプトルナ		
	シラザプリル		
テモカプリル塩酸塩	インヒベース		
デラプリル塩酸塩	エースコール		
トランドラプリル	アデカット		
ペナゼプリル塩酸塩	ブレラン		
ペリンドプリルエルブミン	オドリック		
リシノプリル	チバセン		
	コバシール		
	ロンゲス		
	ゼストリル		
ARB			
アジルサルタン	アジルバ	24時間	
イルベサルタン	アバプロ イルベタン		
オルメサルタン メドキシミル	オルメテック		
カンデサルタン シレキセチル	プロプレス		
テルミサルタン	ミカルディス		
バルサルタン	ディオバン		
ロサルタンカリウム	ニューロタン		
ARB+利尿薬 配合剤			
イルベサルタン / トリクロルメチアジド	イルトラ	24時間	
カンデサルタン シレキセチル / ヒドロクロロチアジド	エカード カデチア		
テルミサルタン / ヒドロクロロチアジド	ミコンビ テルチア		
バルサルタン / ヒドロクロロチアジド	コディオ バルヒディオ		
ロサルタンカリウム / ヒドロクロロチアジド	プレミネント ロサルヒド		
ARB+Ca拮抗薬 配合剤			
アジルサルタン / アムロジピン	ザクラス		24時間
イルベサルタン / アムロジピン	アイミクス イルアイミクス		
オルメサルタン メドキシミル / アゼルニジピン	レザルタス		
カンデサルタン シレキセチル / アムロジピン	ユニシア カムシア		
テルミサルタン / アムロジピン	ミカムロ テラムロ		
バルサルタン / アムロジピン	エックスフォージ アムパロ		
バルサルタン / シルニジピン	アテディオ		
ARB+Ca拮抗薬+利尿薬 配合剤			
テルミサルタン / アムロジピン / ヒドロクロロチアジド	ミカトリオ	24時間	
女性ホルモン製剤			
結合型エストロゲン	ブレマリン	4週以上	
デソゲステレル / エチニルエストラジオール	マーベロン ファボワール		
ドロスピレノン / エチニルエストラジオール	ヤーズ		
ノルエチステロン / エチニルエストラジオール	ルナベル フリウエル シンフェーズ		
レボノルゲステレル / エチニルエストラジオール	アンジュ トリキュラー ラベルフィーユ ジェミーナ		

2019年10月31日現在の添付文書データより作成

※ 処方鑑査、疑義照会を行う時は、最新の添付文書等を参照してください。

類似のテーマの医療安全通信も参考にして下さい。

第5号 (2015年8月5日配信)
抗血栓薬の休薬期間について



第31号 (2017年4月25日配信)
経口避妊薬、月経困難症治療剤について

第52号 (2018年8月22日配信)
ヨード造影剤使用時の
ビグアナイド系糖尿病薬の休薬について